

3-9 広域首都圏GPS固定観測網における観測（第5報）

Stationary GPS Observation in the Extended Tokyo Metropolitan Area (No. 5)

東京大学地震研究所

Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

地震研究所で観測を実施しているGPS固定網観測は、1991年以降ほぼ連続しつつ、今年5年目に入った。前報¹⁾では、1994年2月までの結果を報告したが、今回は、その後の観測を加え、観測開始初期（1991年1月）から1995年2月までの結果を報告する。観測は、通常、隔日に実施している。

1回の観測は、若干の変更を経て、現在は21時間の観測時間でデータ取得を行なっている。観測基線は、地震研究所を中心として、水戸・野辺山・南伊豆・野島埼の各点に伸びる。観測点の設置には、茨城大掌・国立天文台野辺山宇宙電波観測所、海上保安庁白浜航路標識事務所・南伊豆高校の協力を頂いている。

各基線ベクトルの時間変化をグラフに示す。グラフは、各基線の全長と東西・南北・上下3成分の4種である。

観測開始以来、各基線とも変動傾向に大きな変化はみられず、いずれもプレート運動の影響を反映しているとみられる、それぞれ南伊豆点の西北西進・野島埼点の北進は、最近の観測でも継続して認められる。

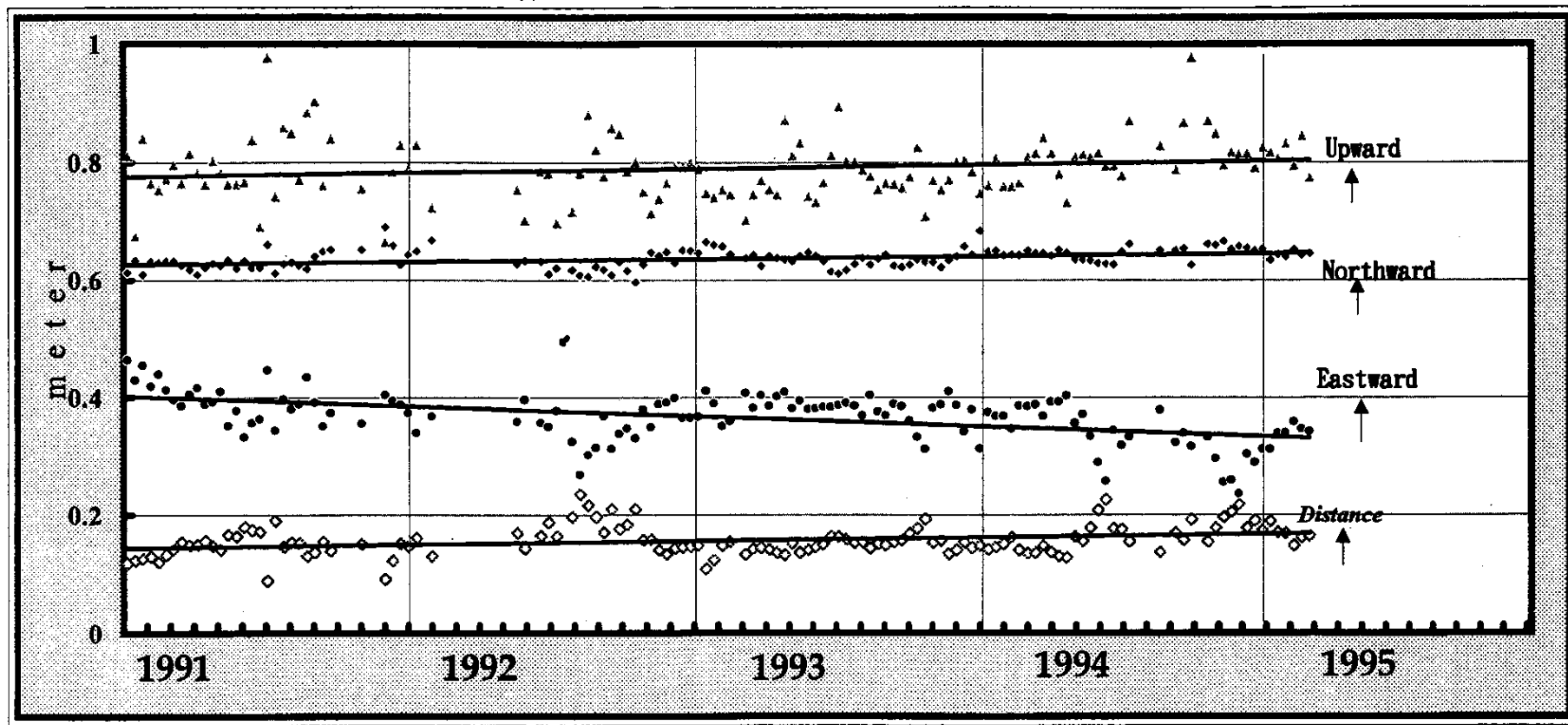
南伊豆基線の東西成分にみられる数ヶ月の期間にわたる変動量10cm程度の西進の加速・回復現象（グラフ上、92年後半・94年中期・同後期）が、見かけのものか、あるいは、現実の観測点の異常運動を示しているのか、さらに調査を進めていく予定である。

参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所他:広域首都圏GPS固定観測網における観測(その4),連絡会報, **52**(1994), 207-210.

YAYOI-MINAMIIZU BASELINE Distance:143475.6m

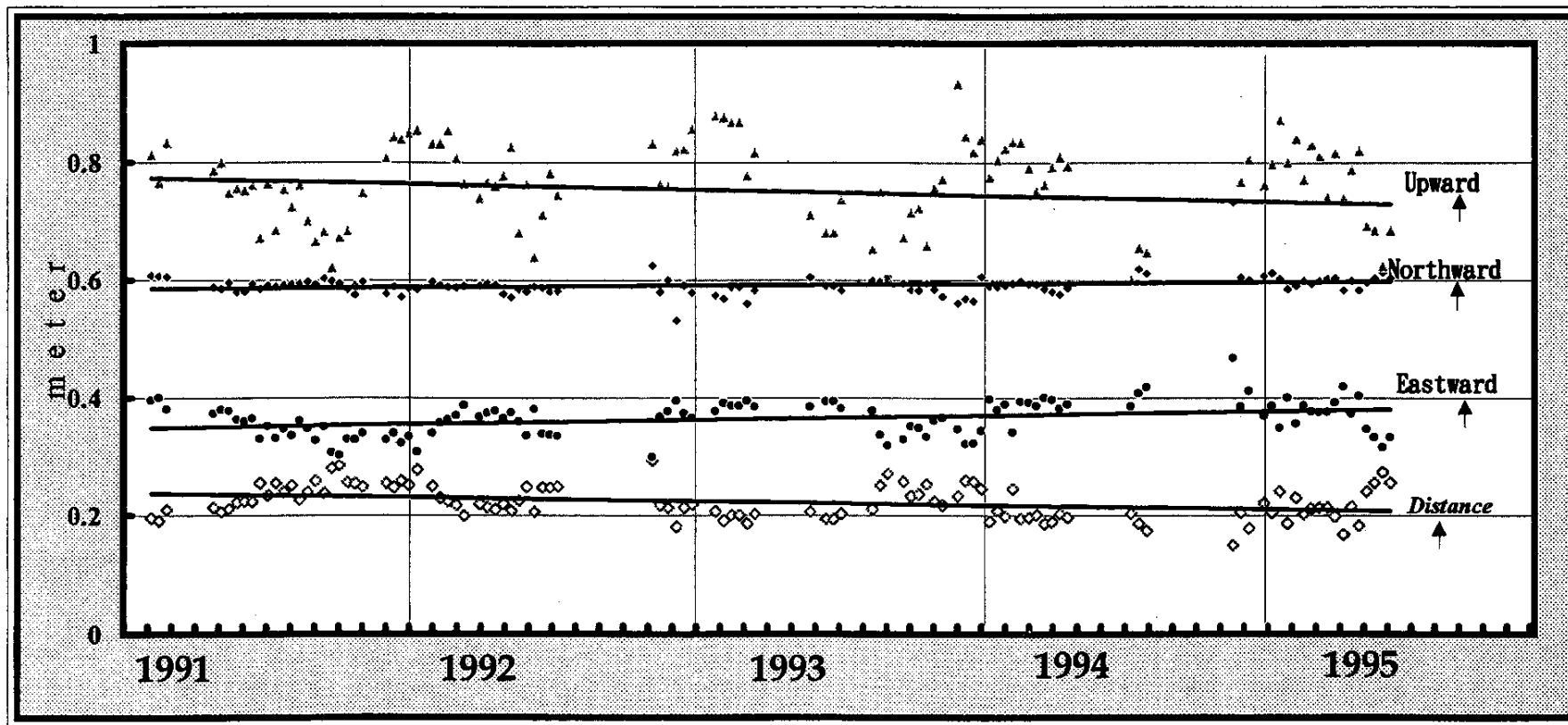
Jan 1991 - Mar 1995



第1図 弥生～南伊豆基線ベクトルの10日毎の変化

Fig. 1 YAYOI-MINAMIIZU BASELINE Distance: 143475.6m.

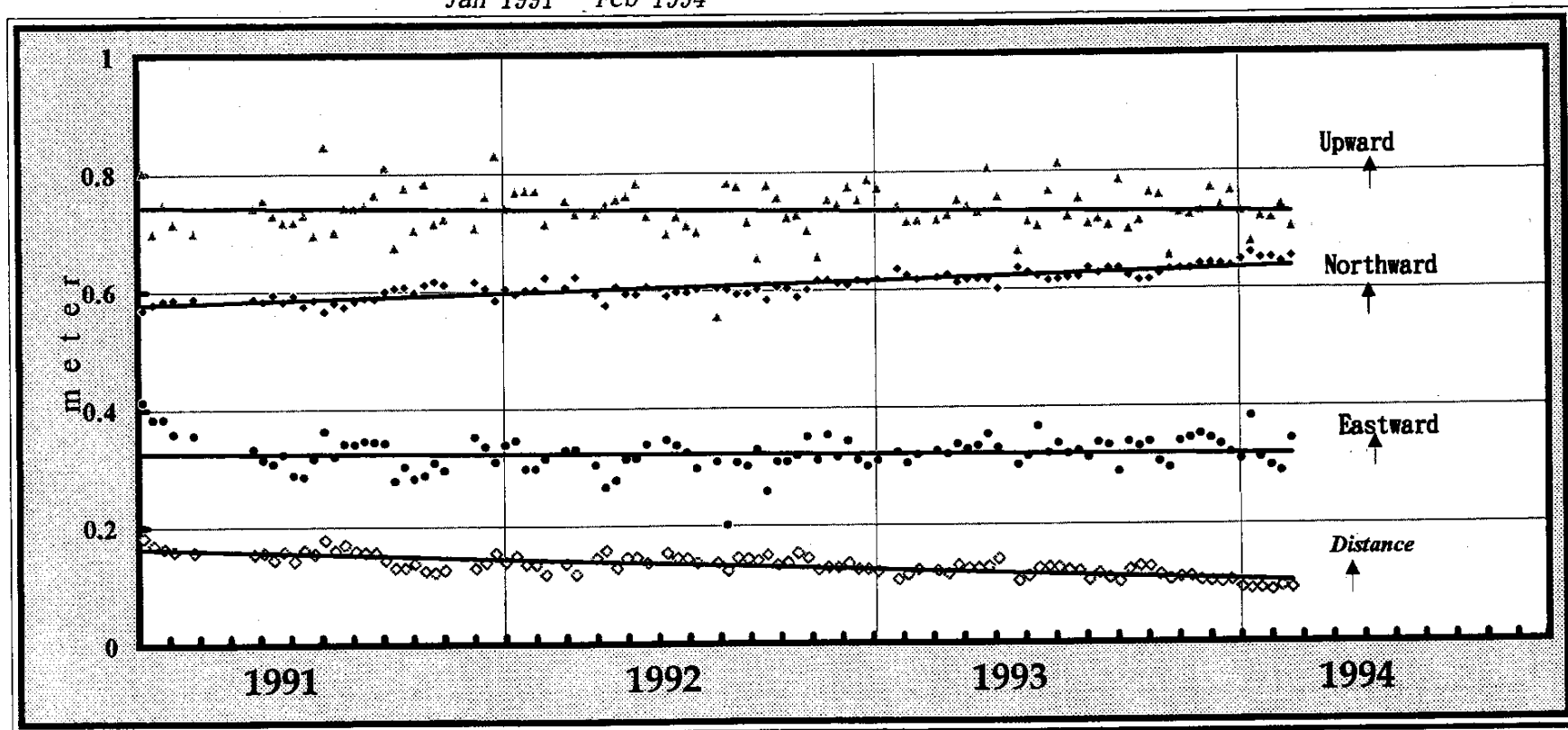
YAYOI-NOBEYAMA BASELINE Distance:118618m
Jan 1991 - May 1995



第2図 弥生～野辺山基線ベクトルの10日毎の変化
Fig. 2 YAYOI-NOBEYAMA BASELINE Distance: 118618m.

YAYOI-NOJIMAZAKI BASELINE Distance:91444.2m

Jan 1991 - Feb 1994



第3図 弥生～野島崎基線ベクトルの10日毎の変化

Fig. 3 YAYOI-NOJIMAZAKI BASELINE Distance: 91444.2m.